

(別紙様式)

(A3判横)

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立浦和西高等学校)

目指す学校像	自主自立の精神を生かして、国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校
--------	---

重点目標	1 確かで高度な学力を確立し、第一志望を実現する質の高い授業の実践 2 地域に信頼され貢献できる生徒の育成 (信頼される人間力の育成) 3 たくましく健やかな心身の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>国公立大学への昨年度合格者数は、一昨年に比べ減少はしたものの、ここ数年のきめ細かな進路指導の成果が見られる。しかし、難関私立大学への現役合格者は、平成27年をピークに減少傾向である。</p> <p>より高いレベルで生徒の第一志望を実現するためには、質の高い授業の確立はもちろん、新学習指導要領の年次進行(令和4年度)に向けての新たな教育課程の編成及びICT環境の整備と授業の実践が不可欠である。</p>	<p>高い志をもって目標を設定し、最後まで諦めることなく第一志望実現に挑む生徒を育成する。</p> <p>生徒一人ひとりの進路希望を実現する質の高い授業の実践と学習環境の整備を達成する。</p>	<p>1 高い志と学力の育成・第一志望の実現</p> <p>①組織的な進路指導体制の構築と最新情報の積極的な提供、進路相談や個人面談等によるきめ細かな進路指導の実践</p> <p>②県指定事業「大学進学指導拠点校」による、教育課程編成及び学習指導、進路指導の研究と改善充実</p> <p>2 質の高い授業の実践</p> <p>①生徒による授業評価アンケート・シラス・西高CAN-DOリストを活用したPDCAサイクルに基づく授業改善</p> <p>②「未来『学び』プロジェクト」等による授業見学・研究授業・学校間交流・研修会等による授業力の向上</p> <p>③ICTや知識構成型ジグソー法などを用いた授業の実践</p>	<p>1 高い志と学力の育成・第一志望実現の状況</p> <p>①国公立大学合格者・難関私立大学合格者の増加(目標:国公立大学合格100名以上)</p> <p>②新教育課程の編成や大学入学共通テストに向けての取り組み状況</p> <p>2 授業改善の状況</p> <p>①授業満足度85%以上・西高CAN-DOリスト達成度80%以上</p> <p>②授業見学・研修会等への参加教員の増加</p> <p>③研修会の実施や取組状況</p>	<p>1 来年度から実施の「大学入学共通テスト」への影響で、安全志向の傾向が高まっている。</p> <p>①国公立大現役合格者数は11名→昨年度15名(2/1現在)。センター試験は99%(前年同率)が受験。5(6)教科7(8)科目受験者は48%(前年43%)、平均点は前年比文系-13.5・理系-38.3であった。</p> <p>②新教育課程については、来年度5月の提出に向け編成中である。共通テストの外部検定導入及び記述式問題の見送りについては、進路指導部を中心に情報収集に努め、生徒・保護者に対し混乱なく対応できた。</p> <p>2 各研修会等の参加により、各教科での授業改善が進められている。</p> <p>①授業満足度84.8(前年比+1.1)・西高CAN-DOリスト達成率81.0%(前年比+4.2)と昨年度よりそれぞれ増加したが、満足度に関しては目標値を下まわった。</p> <p>②授業相互見学249回(前年比+4回)。「未来『学び』プロジェクト」研究開発員2名による「知識構成型ジグソー法」を活用した研究公開授業及び研究協議会を実施。</p> <p>③全クラスにプロジェクト並びにスクリーンを設置、ジグソー法等協調学習に向けての授業改善を推進。</p>	B	<p>・「『進化』し続ける西高」に向け、より一層組織的な進路指導体制の構築と、質の高い授業を目指した授業改善に取り組む。</p> <p>・「大学入学共通テスト」の今後の動向に注視し、生徒の進路実現に向けての対策を講じる。</p> <p>・本校の「目指す学校像」の実現に向け、大学進学指導拠点校と連携し、新学習指導要領の施行に向けた新たな教育課程を編成する。</p>
2	<p>本校に対する地域からの信頼は高まっているが、少なからず登下校のマナーについて近隣の方々からご指摘を受けるケースがある。</p> <p>これまで以上に信頼を高めるためには、生徒・保護者・学校が一体となって、地域や社会に貢献するとともに、学校情報を積極的に発信し、本校の魅力を伝えていく必要がある。</p>	<p>情報の発信方法や質の高い情報を発信し、より地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>自ら率先して地域との交流や社会貢献活動に取り組むことができる生徒を育成する。</p>	<p>1 本校の魅力・取組・生徒の活動の発信</p> <p>①学校通信の毎月発行、ホームページ・スマート連絡帳の随時更新</p> <p>②学校説明会の効果的な実施と、部活動見学会の開催</p> <p>③PTA・後援会行事の情報発信</p> <p>2 地域との交流活動・社会貢献活動の拡充</p> <p>①小学校・中学校・高校・特別支援学校等との連携した交流活動の実施</p> <p>②地域との交流活動(斜面林友の会・地元自治会等)や社会貢献活動(ボランティア等)への参加促進</p> <p>③生徒会と生徒指導部との連携による、マナー指導の徹底</p>	<p>1 情報発信の状況</p> <p>①ホームページの更新を月間20回以上、スマート連絡帳の随時更新。</p> <p>②入試倍率:1.50倍以上</p> <p>③PTA・後援会・地域住民参加者数の増加</p> <p>2 社会貢献活動等の状況</p> <p>①小学校交流等の参加者数の増加</p> <p>②交流活動等への参加者数の増加</p> <p>③生徒会とタイアップしたマナー指導の取組状況</p>	<p>1 様々な情報発信の結果、地域に信頼される学校として認知されつつある。</p> <p>①更新回数274回:月平均27回。アクセス数35万件超、またホームページのリニューアルを行った。スマート連絡帳に関しては、緊急時のプッシュ配信のみにとどまった。</p> <p>②学校説明会全5回実施、参加者は4586名(前年比+396名)。土曜公開授業は全15回実施。12月現在の進路希望状況調査で1.96倍と県立高校ではトップの倍率であった。</p> <p>③ホームページで、PTA・後援会関連行事に関し、14件掲載した。</p> <p>2 地域社会への貢献について、生徒の意識は高まっている。</p> <p>①小学校交流は、28名の生徒が参加。中学校出張授業には、教員9名参加。</p> <p>②ボランティア・市民活動・交流活動に約1500名参加。</p> <p>③今年度は、風紀委員会において生徒指導部との連携によるマナー指導の実施を検討。次年度に向けて再度検討予定である。</p>	A	<p>・今年度新たに、選挙事務の高校生ボランティア活動に参加するなど、社会貢献活動に興味・関心を示す生徒が増えている。今後も地域との交流活動を積極的に推進し、社会に貢献できる生徒の育成に努める。</p> <p>・登下校・スマートフォンの使用法・挨拶等、課題となるマナー指導を生徒指導部を中心に全教員共通理解のもと生徒会との連携も含め実践していく必要がある。</p>
3	<p>「自主自立」の精神の下、節度ある学校生活を実践している。</p> <p>今後より一層、リーダーとしての資質を向上させるためには、自ら考え行動できる生徒を育成する必要がある。</p>	<p>部活動や生徒会活動に積極的に参加し、学習面・生活面で自己管理する能力を持ち、「西高力」(自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力)を育成する。</p> <p>国際社会で貢献・活躍できるリーダーを育成する。</p>	<p>1 自己管理能力の育成</p> <p>①朝学習・家庭学習の奨励・支援</p> <p>②部活動・生徒会活動・学校行事の充実</p> <p>③自己管理能力(目標・時間・生活)の育成</p> <p>2 グローバル(異文化理解)教育の推進</p> <p>①オーストラリア研修及び受入による交流</p> <p>②留学生の受入、海外派遣事業への参加</p> <p>③「オーストラリア教育実施校」での、オーストラリア向けの機運醸成</p>	<p>1 自己管理能力の状況</p> <p>①授業以外の自主的学習時間の増加</p> <p>②部活動加入率:95%以上</p> <p>生徒会活動・学校行事:執行部参加生徒数の増加</p> <p>③年間遅刻者数の減少</p> <p>2 推進の状況</p> <p>①応募数及び交流会等の参加者数の増加</p> <p>②海外派遣・異文化交流への応募・参加生徒数の増加</p> <p>③オーストラリア教育の取組状況</p>	<p>1 自己管理できる生徒が確実に増加。</p> <p>①朝学習は全生徒に浸透。家庭学習については、より一層の定着が必要である。</p> <p>②部活動加入率は、95%(兼部含)。生徒会活動は、前・後期ともに円滑に実施。学校行事も生徒主体で運営、「自主自立」に向け成果を挙げている。</p> <p>③1月末までの遅刻数は、924回とここ数年増加傾向である。(昨年同時期837回)</p> <p>2 海外での文化交流を希望する生徒が増加傾向である。</p> <p>①オーストラリア研修に応募者数31名、21名派遣。</p> <p>②現在、アメリカ、スイス、イタリヤから3名本校に留学中。民間団体海外交流プログラムに1名参加。サッカフェスティバル国際交流事業として、本校に海外招待チームが来校予定(3月)。</p> <p>③「『あすチャレ!スクール』車椅子バスケボール選手とのパラスポーツ体験・講話を1学年で実施。</p>	B	<p>・今年度12月に、長期休業期間以外では県内初となる米国ボストンの海外研修に、1・2年生の希望者23名を10日間派遣。今後も、より充実した研修プログラムを構築し継続していく。</p>

学校関係者評価
実施日 令和2年2月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>授業評価アンケートにおける、授業満足度の高さを見ると達成度は、Aでもよいのではないかと感じる。</p> <p>全クラスのプロジェクターとスクリーンの設置など、ICTを活用した授業の充実さがうかがえる、今後も積極的に実践してほしい。</p> <p>小学校交流など、西高生を見ていると一生懸命で何事にも全力な生徒が多いと感じる。今後も、社会に貢献する人材育成に努めてもらいたい。</p> <p>PTAの取組や講演会等の行事に関しての情報発信を、もっと積極的に行っていきたい。</p> <p>斜面林保全活動に参加してくれた生徒がおり、非常にうれしく感じた。より一層斜面林の活動に参加してほしい。</p> <p>遅刻数が増加傾向という報告があったが、以前に比べれば、格段に少ない状況であり、先生方の努力がうかがえる。</p> <p>50mという県下でも貴重なプールであり、また防災上の観点からも改修されるよう期待したい。</p> <p>国際交流の取組については、今年度から実施したボストン研修も含め、非常に充実してきている。生徒にとっても良い刺激となっているので、今後とも継続して行ってほしい。また、発表の場として、文化祭でのブースによる報告など積極的に行ってもらいたい。</p>

